

文教厚生委員会視察研修報告

橋本市議会文教厚生委員会は1月22日、23日、滋賀県野洲市と湖南省で視察研修を行いました。

参加者

土井裕美子、阪本久代、松浦健次、中西峰雄、中本浩精、小林弘
北山茂樹（同行 健康福祉部長）、岡本孝範（同行 教育委員会指導主事）
棚田宗一（随行 議会事務局議事調査係）

1月22日（火） 野洲市

○元気な学校づくりマスタープラン

○子どもの読書活動推進計画（学校に関すること）

野洲市は平成16年10月1日に中主町と野洲町が合併して誕生した市で、人口50,821人、面積は陸地60.53k㎡、琵琶湖19.62k㎡で合計80.15k㎡の市です。

「元気な学校づくりマスタープラン」については教育委員会事務局学校教育課参事 和田晋氏から、「子どもの読書活動推進計画」について教育委員会事務局生涯学習スポーツ課課長補佐 杉本源造氏から説明を受けました。

野洲市教育委員会では平成23年度から27年度までに取り組むべき教育の基本的な方向を確認する「野洲市教育振興基本計画」を補うとともに当初からの円滑な実施をめざし「元気な学校づくりマスタープラン」を作成しました。「確かな学力」の向上、「元気な心とからだ」の育成、特別支援教育の充実など58項目について年度ごとの予定を一覧にして、進捗状況を把握し、進行計画に照らして点検・評価し、必要に応じて学校を支援するということです。

また、「子どもの読書活動推進計画」を策定したが予算の裏づけがなく、実施できなかったということです。

1月23日（水） 湖南省

○発達支援システム

湖南省は平成16年10月1日に石部町と甲西町が合併して誕生した市で、人口55,060人、面積70.49k㎡の市です。

「発達支援システム」について発達支援室長から説明を受けました。

湖南省の発達支援システムは、支援の必要な人に対し、乳幼児期から学齢期、就労期まで、教育・福祉・保健・就労・医療の関係機関の横の連携による支援と、個別の指導計画による縦の連携による支援を提供するシステムです。

支援体制の司令塔である発達支援室（発達支援センター）を健康福祉部内に、専門的支援の場を石部保健センターと3つの小学校内に設置しています。

発達支援室は、個別の指導計画に基づく機関内コーディネートを担い、個のニーズに応じ長期にわたって一貫した支援を統括する部署です。室長（教頭職）1人、保健師1人、発達相談員1人、発達相談員（嘱託）2人、保育士（嘱託）1人、保育士（臨時）1人の7人で構成しています。

平成24年3月5日に「チャンスワークこなん」を開設したことにより、市役所内で職業相談から職業紹介まで一括したワンストップサービスが受けられるようになりました。

以上、概要を報告いたします。

なお、詳細については議会事務局に資料を保管していますので、ご覧ください。